



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日
東

上場会社名 株式会社ヨロズ 上場取引所
コード番号 7294 URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)志藤 健
問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員財務部長 (氏名)佐草 彰 (TEL) 045(543)6802
四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,828	△6.3	191	△85.8	△6	—	△66	—
2019年3月期第1四半期	41,423	△3.3	1,349	5.6	1,461	△16.4	858	△26.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 753百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期△1,307百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△2.80	—
2019年3月期第1四半期	36.11	35.50

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	168,830	92,517	44.8
2019年3月期	168,097	92,310	45.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 75,682百万円 2019年3月期 75,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	12.00	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	△4.2	450	△82.6	140	△95.0	△330	—	△13.88
通期	163,000	△3.6	2,500	△52.7	1,950	△62.7	800	98.6	33.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	25,055,636株	2019年3月期	25,055,636株
2020年3月期1Q	1,285,960株	2019年3月期	1,285,878株
2020年3月期1Q	23,769,708株	2019年3月期1Q	23,769,759株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおりアナリスト・株主向け工場見学会を開催する予定です。

・2019年10月1日(火)・・・機関投資家・アナリスト向け工場見学会

開催場所 (株)庄内ヨロズ・(株)ヨロズエンジニアリング

・2019年10月18日(金)・・・株主向け工場見学会

開催場所 (株)ヨロズ栃木

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善は続いており個人消費は堅調に推移しているものの、通商政策の動向や今後の金融情勢の影響などにより、先行きの不透明感は強まっております。中国では、対米貿易摩擦の影響などにより、減速傾向が続いているものの、新興国では、全体的に内需は堅調に推移いたしました。

一方、日本経済は、堅調な雇用環境を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦による先行き不透明感が増し、消費税増税に対する心理的影響など、今後の経済動向にさらに留意する必要が強まりました。

当社グループが関連する自動車産業におきましては、米国では、ピックアップトラック、SUVなど「ライトトラック」は好調な反面、セダンや小型車の販売は低迷が続いております。中国においては、米中貿易摩擦の影響などにより、生産販売台数ともに前年割れが続いております。東南アジア等そのほかの地域の生産や販売は、おおむね好調に推移しました。また、国内は、生産は好調に推移し、販売はほぼ横ばいとなりました。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は前年同期比6.3%減の38,828百万円となりました。利益面では、米国テネシー拠点での大幅な収益改善はあったものの、日本・中国・タイでの生産の減少などにより、営業利益は前年同期比85.8%減の191百万円となりました。経常利益は、前年同期での為替差益計上から、当第1四半期では為替差損計上となったことなどにより、前年同期に比べ1,468百万円減の6百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期に比べ925百万円減の66百万円の損失となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、110.22円/ドル（前第1四半期累計期間108.22円/ドル）であります。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

① 日本

主要得意先の生産台数の減少や金型・設備売上の減少などにより、売上高は前年同期比28.1%減の10,679百万円、営業利益は前年同期比96.0%減の63百万円となりました。

② 米州

米州における当社グループの売上は、米国でのセダンや小型車の販売低迷による主要得意先の減産影響はあったものの、メキシコ・ブラジルでは生産台数が増加したことから、前年同期比5.9%増の17,634百万円となりました。

損益面では、米国テネシー拠点での大幅な収益改善や、アラバマ拠点の立上げ費用が一巡したことなどにより、前年同期に比べ376百万円改善したものの黒字化には至らず338百万円の営業損失となりました。

③ アジア

中国・タイでの主要得意先の生産販売台数減少などにより、売上高は前年同期比17.3%減の12,391百万円、営業利益は前年同期比69.0%減の240百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ2,082百万円増加の69,504百万円となりました。これは、「受取手形及び売掛金」が1,127百万円、「仕掛品」が910百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ1,349百万円減少の99,325百万円となりました。これは、「有形固定資産」の「建物及び構築物」が116百万円、「機械装置及び運搬具」が1,212百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ732百万円増加の168,830百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,460百万円増加の41,734百万円となりました。これは、「未払法人税等」が489百万円減少したものの、「1年内返済予定の長期借入金」が962百万円、「賞与引当金」が648百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ935百万円減少の34,578百万円となりました。これは、「長期借入金」が724百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ525百万円増加の76,312百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ207百万円増加の92,517百万円となりました。これは、「その他の包括利益累計額合計」のうち「為替換算調整勘定」が751百万円増加したものの、「株主資本合計」のうち「利益剰余金」が613百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月9日の決算発表時に公表いたしました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想を下表のとおり修正いたしました。(別途「業績予想の修正に関するお知らせ」で開示しております。)

記

1. 2020年3月期 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

①第2四半期連結累計期間業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月9日発表)	百万円 81,000	百万円 640	百万円 310	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想(B)	79,000	450	140	△330	△13.88
増減額(B-A)	△2,000	△190	△170	△330	—
増減率(%)	△2.5	△29.7	△54.8	—	—
(ご参考)前第2四半期実績 (2018年9月期)	82,433	2,589	2,790	1,673	70.40

②通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月9日発表)	百万円 165,000	百万円 3,500	百万円 2,950	百万円 1,650	円 銭 69.42
今回修正予想(B)	163,000	2,500	1,950	800	33.66
増減額(B-A)	△2,000	△1,000	△1,000	△850	—
増減率(%)	△1.2	△28.6	△33.9	△51.5	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	169,111	5,290	5,222	402	16.94

2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び最近の事業環境を踏まえ、中国・メキシコ・日本などでの売上の減少やメキシコでの労務費・経費の上昇などを勘案し修正いたしました。

通期の連結業績予想につきましては、売上高及び営業利益は、最近の事業環境を踏まえ、メキシコ・タイ・日本などでの売上の減少や上期と同様にメキシコでの労務費・経費の上昇などを勘案し修正いたしました。

なお、当連結業績予想における海外子会社財務諸表の換算は、次の為替レートを前提としております。

1 USドル=108.00円(注1)、1メキシコペソ=5.80円(注1)、1タイバーツ=3.40円(注1)、

1中国元=16.40円(注1)、1インドルピー=1.58円(注2)、千インドネシアルピア=7.80円(注2)、

1ブラジルリアル=28.00円(注2)

(注1) 12月決算のため2019年1月～12月の予想平均レートによっております。

(注2) 3月決算のため2019年4月～2020年3月の予想平均レートによっております。

*上記の予想は、本資料の発表時における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,970	23,915
受取手形及び売掛金	19,842	20,970
電子記録債権	2,122	2,174
製品	5,340	5,621
原材料及び貯蔵品	934	1,036
部分品	2,804	2,539
仕掛品	6,878	7,788
その他	4,659	5,676
貸倒引当金	△130	△218
流動資産合計	67,422	69,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,505	19,389
機械装置及び運搬具（純額）	53,426	52,214
その他（純額）	12,975	13,091
有形固定資産合計	85,907	84,694
無形固定資産	418	381
投資その他の資産	14,349	14,249
固定資産合計	100,675	99,325
資産合計	168,097	168,830

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,117	14,480
電子記録債務	3,401	3,127
短期借入金	10,694	10,812
1年内返済予定の長期借入金	1,218	2,181
未払法人税等	1,278	789
賞与引当金	1,347	1,995
役員賞与引当金	81	100
その他	8,133	8,246
流動負債合計	40,273	41,734
固定負債		
長期借入金	31,333	30,608
退職給付に係る負債	1,276	1,168
その他	2,903	2,801
固定負債合計	35,513	34,578
負債合計	75,787	76,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,200	6,200
資本剰余金	10,329	10,329
利益剰余金	67,195	66,582
自己株式	△1,836	△1,836
株主資本合計	81,888	81,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,022	2,830
為替換算調整勘定	△8,879	△8,128
退職給付に係る調整累計額	△378	△295
その他の包括利益累計額合計	△6,235	△5,592
新株予約権	649	649
非支配株主持分	16,008	16,185
純資産合計	92,310	92,517
負債純資産合計	168,097	168,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	41,423	38,828
売上原価	36,595	34,920
売上総利益	4,827	3,907
販売費及び一般管理費	3,477	3,716
営業利益	1,349	191
営業外収益		
受取利息	71	60
受取配当金	134	134
為替差益	45	—
その他	36	39
営業外収益合計	287	234
営業外費用		
支払利息	173	205
為替差損	—	227
その他	1	0
営業外費用合計	175	432
経常利益又は経常損失(△)	1,461	△6
特別利益		
固定資産売却益	0	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産廃棄損	5	3
減損損失	3	0
その他	—	0
特別損失合計	9	4
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,453	△2
法人税等	455	129
四半期純利益又は四半期純損失(△)	997	△132
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	138	△66
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	858	△66

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	997	△132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△191
為替換算調整勘定	△2,359	980
退職給付に係る調整額	43	97
その他の包括利益合計	△2,305	886
四半期包括利益	△1,307	753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△968	576
非支配株主に係る四半期包括利益	△339	177

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	10,249	16,560	14,613	41,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,598	89	366	5,054
計	14,848	16,650	14,979	46,477
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	1,585	△714	776	1,647

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,647
セグメント間取引調整額	△298
四半期連結損益計算書の営業利益	1,349

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	米州	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	8,967	17,525	12,334	38,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,711	109	56	1,877
計	10,679	17,634	12,391	40,705
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	63	△338	240	△34

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△34
セグメント間取引調整額	226
四半期連結損益計算書の営業利益	191